



救急でQ（救急隊との交流会） 10月11日（金）開催

グループワークで出された「救急隊への質問」一部抜粋

Q1 独居の方の救急キットの活用について

A1 配布されている地域であれば、玄関や冷蔵庫に表示されているので活用させてもらっている。
しかし、傷病者情報（既往症、かかりつけ、緊急連絡先、保険証など）が更新されていないことがあるので、定期的な更新をお願いします。

Q2 救急キットは渡してしまうとそのままになりますか？ それとも返却されますか？

A2 救急隊は病院に情報提供する際に使用し、その後は病院または救急隊から傷病者、家族へ返却します。ですので再度役場などをお願いして新しいものの準備は必要ありません。

Q3 救急要請の搬送時付き添いについて

A3 搬送時の付き添いについては基本的にはお願いしています。病院からの依頼の部分もあります。夜間等であるとタクシーが捕まりにくいという話は聞いています。提携医療機関と相談し、情報提供書等を作成し別車両で向かうのを前提として救急車の同乗をしていない施設もあります。

Q4 1人勤務の時（主に施設の夜勤）に救急車を呼ぶときの判断に困っています。判断する際のポイントなどあれば教えてください。

A4 傷病者のことを第1に考え、必要であれば要請していただけたらと思います。
参考までに、下記 URL 総務省消防局 HP の救急車利用リーフレットをダウンロードし、もしもの際の判断に活用ください。

URL: https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal009_kourei_pdf.zip

その他、「サイレンの音量」「警察との連携」「搬送しない条件」「救急要請から到着までの行動」など多くの質問や交流でのご意見ありがとうございました。

今後も引き続き、救急隊との交流や意見交換、医療介護関係者とお互いに働きやすい協力体制の構築などを進めていきたいと考えています。

医療・介護関係者の皆様

今後も引き続き企画へのご参加ならびに、医療介護連携へのご協力をよろしくお願いいたします。

ぬまたとね医療・介護連携相談室

